

様式第4号（第4条関係）

配置予定技術者評価資料

工事名： _____

商号又は名称： _____

区	分	主任技術者 監理技術者	ふりがな 氏名		年齢	歳
所	属	会	社	建設業許可番号	—	

国家資格証明書等の番号		取得年月日	年 月 日
監理技術者資格者証番号		交付年月日	年 月 日
監理技術者講習修了証番号		修了年月日	年 月 日

工 事 経 験	発注者名	
	工事名	
	工事箇所	
	請負金額	
	工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
	従事役職	
	工事概要	
CORINS 登録の有無	・有り (CORINS 登録番号)	・無し

【注意事項】

(共通)

- 1 本書は、入札の公告又は指名通知書に示す総合評価点算定基準に基づき記入すること。
- 2 当該評価項目について実績を有しない場合であっても、配置予定技術者の有する資格証明書等の写しを添付し本書を提出すること。
- 3 本工事に主任技術者又は監理技術者として配置する予定の技術者（以下「技術者」という。）について作成すること。
- 4 技術者を1人に特定できない場合は、複数の者を技術者とすることができる。この場合において、本書は、評価基準を満たすか否かにかかわらず、すべての技術者数分作成するものとし、すべての技術者は、資格要件等を満たさなければならない。
- 5 実際の工事の施工に当たって、種々の状況からやむを得ないものとして発注者が承認した場合のほかは、本書に記載した技術者以外の者への変更は認めない。

(資格について)

- 6 国家資格者等にあつては、当該資格証明書等の写しを添付すること。この場合において、監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証の写しを添付すること。

(工事経験について)

- 7 工事概要は、評価基準に該当する工事であることが確認できるように記載すること。
- 8 工事経験を有する工事は、施工実績評価資料（様式第3号）の工事と同一でなくてもよい。
- 9 当該工事の内容が、評価基準に該当する工事で、かつ完了していることを証明できるもの〔竣工時工事カルテ又は契約書等と工事着手届及び現場代理人等選任通知書等の写し（配置予定技術者の施工経験が判るもの）〕を添付すること。

(雇用関係について)

- 10 本工事に配置できる監理技術者、主任技術者（以下「技術者」という。）は、請負者と「直接的かつ恒常的な雇用関係」にある者でなければならない。

なお、恒常的な雇用関係とは、評価項目算定資料提出日現在で3ヶ月以上継続して雇用していることを言う。

これを証する書類として、健康保険被保険者証（所属建設業者名が記載されているもの）の写し等を添付すること。